

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 5 年 9 月 29 日(2023.9.29)

【公開番号】特開 2023-61824(P2023-61824A)  
【公開日】令和 5 年 5 月 2 日(2023.5.2)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-082  
【出願番号】特願 2021-172009(P2021-172009)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 5 2 C

A 6 3 F 7/02 3 0 1 C

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 9 月 21 日(2023.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本体枠と、該本体枠に装着される遊技盤とを備え、前記遊技盤に設けられる始動口に遊技球が入球することに基づいて当落に関する抽選を行う遊技機であって、

当該遊技機に対して工具レスで脱着可能な特定演出部品と、

前記当落に関する抽選の結果に基づいて前記特定演出部品を動作させる演出制御手段と、  
を備え、

前記特定演出部品は、前記遊技盤が前記本体枠に装着された状態であっても脱着可能であり、

30

前記特定演出部品が未装着の場合には、未装着に対応するエラー制御を実行可能であり、  
特定条件が成立しているなかで前記特定演出部品を取り外した場合には、前記未装着に対応するエラー制御が実行されない未装着許容状態を発生可能であり、

前記未装着許容状態では、前記始動口に遊技球が入球することに基づいて前記当落に関する抽選を行うことが可能であり、

さらに、付与された遊技価値に関する計数値が特定値に達することに基づいて、遊技進行を制限する遊技制限手段を備え、

前記遊技制限手段により遊技進行が制限される前には、前記特定値に近づいていることを認識可能な事前報知が行われる

ことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

近年、パチンコ機等の遊技機には、装飾性を高めるべく、遊技盤に対応した固有の枠飾り部材が着脱可能に設けられている。こうした遊技機では、枠飾り部材を用いて、例えば、表示手段に表示される図柄の変動表示に関連した所定の専用演出を実行可能としている(例えば、特許文献 1 参照)。しかしながら、例えば、枠飾り部材の動作状態を確認する

50

には、枠飾り部材を取り付けることに電源を再投入する等の手間がかかり、利便性に懸念があった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【特許文献 1】特開 2020 - 89489 号公報

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明は、上記の実情に鑑み、利便性の向上を図ることが可能な遊技機の提供することを課題とするものである。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明は、

本体枠と、該本体枠に装着される遊技盤とを備え、前記遊技盤に設けられる始動口に遊技球が入球することに基づいて当落に関する抽選を行う遊技機であって、

当該遊技機に対して工具レスで脱着可能な特定演出部品と、

前記当落に関する抽選の結果に基づいて前記特定演出部品を動作させる演出制御手段と、  
を備え、

前記特定演出部品は、前記遊技盤が前記本体枠に装着された状態であっても脱着可能であり、

前記特定演出部品が未装着の場合には、未装着に対応するエラー制御を実行可能であり、  
特定条件が成立しているなかで前記特定演出部品を取り外した場合には、前記未装着に  
対応するエラー制御が実行されない未装着許容状態を発生可能であり、

前記未装着許容状態では、前記始動口に遊技球が入球することに基づいて前記当落に  
関する抽選を行うことが可能であり、

さらに、付与された遊技価値に関する計数値が特定値に達することに基づいて、遊技進  
行を制限する遊技制限手段を備え、

前記遊技制限手段により遊技進行が制限される前には、前記特定値に近づいていること  
を認識可能な事前報知が行われる

10

20

30

40

50

ことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

このように、本発明によれば、利便性の向上を図ることが可能な遊技機を提供することができる。

10

20

30

40

50